

「神奈川県水道広域化推進プラン(素案)」に関する提出意見及びこれに対する県の考え方

1 意見募集期間

令和4年12月20日(火曜日)から令和5年1月19日(木曜日)まで

2 意見募集の結果

意見の件数 13件 (意見提出者数 9人)

[意見の内訳]

内 容	件 数
1 「プラン全体」に関するもの	1件
2 「プランの趣旨」に関するもの	0件
3 「経営の分析」に関するもの	0件
4 「今後の広域化に係る推進方針」に関するもの	12件
5 その他	0件
合 計	13件

[意見の反映状況]

内 容	件 数
A プランに反映した意見	1件
B プラン(素案)に既に反映している意見	1件
C 今後の参考とする意見	10件
D プランに反映できない意見	0件
E その他(感想)	1件
合 計	13件

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
1	1 プラン全体	神奈川県水道広域化推進プラン(素案)は、よくできていると思う。	E	将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるようプランの取組を推進してまいります。
2	4 今後の広域に係る推進方針	<p>内容や策定の責務は分かった。</p> <p>将来、県内全体、特に小規模な市町村の水道事業の経営が厳しくなるため、連携して負担を軽減しようとするものと解釈した。</p> <p>短期的には負担は見えてこないが、長期的に考えると、事業統合や税金投入など、様々なことが想定でき、極論になるが、横浜や川崎などの都市部の県民が、経営が厳しい山間部の水道の負担を強いられるのだと思える。</p> <p>基本的に、横浜、川崎の水道事業は、将来を見据え、しっかりと成り立っており、このままで十分である。</p> <p>都市部も山間部も住むにはメリットやデメリットがあり、居住地を選択する自由がある中で、山間部を選択して住んでいるのだから、人口減少等で水道事業の経営が厳しくなるからといって、その負担を県全体で負うのは、少しおかしいと思う。当該市町村や事業者、エリア内の人が負担すべきではないか。</p> <p>全国的に水道事業が成り立たないのであれば、国営化するなり、国費を投入すればよいのではないか。</p>	C	事業統合などの連携方策については、住民の理解を得ながら事業者の判断により進められることが前提になりますので、事業者間の公平性を保つという観点から、まずは、各水道事業者の経営安定化を図る必要があると考えております。ご意見については、今後の取組の参考とします。

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
3	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>県内で1事業体に事業統合すべきである。</p> <p>県東部の広域水道企業団及び企業庁は、県中部及び県西部を水源として事業を行っているため、配水のみならず配水に必要な水源地の管理も事業の枠として考えるべきで、県内一律料金とし、事業統合による経費負担は各市町村の人口割による繰出しが妥当と考える。</p> <p>ほぼ同じ水源を利用しているのに自治体の事業体の経営状態により料金格差が生じることはあってはならないと考える。</p>	C	<p>プランでは、特定の連携方策に限らず、「施設の共同化」、「管理の一体化」、「経営の一体化」、「事業統合」などの多様な広域連携を促進することで、将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるよう取組を推進することとしており、ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>
4	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>県内で1事業体に事業統合すべきである。</p> <p>1事業体で経営が困難であれば、水道法の改正や国へ補助金の法整備を働きかけるべきである。</p>	C	<p>プランでは、特定の連携方策に限らず、「施設の共同化」、「管理の一体化」、「経営の一体化」、「事業統合」などの多様な広域連携を促進することで、将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるよう取組を推進することとしており、ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>
5	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>相模原市の簡易水道事業等については、中山間地にあるため県のように効率的な経営ができないと聞いている。</p> <p>県は、簡易水道事業等を率先して統合し、水源が水に困らないように取り組むのが、広域化推進プランの肝と考えており取組内容が不十分な素案であると思った。積極的な検討を期待している。</p>	C	<p>プランでは、特定の連携方策に限らず、「施設の共同化」、「管理の一体化」、「経営の一体化」、「事業統合」などの多様な広域連携を促進することで、将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるよう取組を推進することとしており、ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
6	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>水は山から海へ流れる。高低差を利用して、自然に従った配水を行えば電力（光熱費）も削減され、経営の効率化につながると考える。</p>	B	<p>「今後の広域化の推進方針」の「多様な視点からの調整・推進」の中で、上流から優先的に取水するなど、環境負荷低減に努めるとしており、ご意見の趣旨は、既にプランに反映しております。</p>
7	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>素案の 37 ページで上流からの取水を進めるとあるが、現在の下流部からの取水から切り替えた場合、中流部の流量が大きく減少し、環境や魚類や野鳥への影響が大きすぎると考える。</p> <p>戦後の日本の都市用水の利水が、水質や位置エネルギーのメリットがあっても下流部における取水を固守しているのはまさにこの点にあると考えられ、この点への配慮がないのは「SDGs 未来都市かながわ」としては、まずいと思う。</p> <p>例えば以下のような環境配慮策はいかがか。</p> <p>（1 案）上流部からの取水拡大は限定的なものにしたうえで、ポンプのインバーター化などで省エネ化を徹底することでコスト縮減し、下流部の取水も縮小存続させて環境の激変を回避する。</p> <p>（2 案）県を南北に分け、中～北部の都市は相模川の上流取水拡大で賄うようにしてエネルギーコストを縮減する一方、中～南部の都市は酒匂川の下流取水で賄うようにしてエネルギーコスト中立とする（逆も可）。</p> <p>（3 案）上流部の取水にシフトすると同時に取水堰を撤去しつつ、河川を多自然型に改修し、海水の遡上を復活させ、「水量は少ないながらも自然度の高い河川」にモデルチェンジする。</p>	C	<p>広域連携の取組については、周辺環境等にも十分に配慮しながら推進していく必要があると考えており、ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
8	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>国の方針である水道広域化を全国で推進しているが、近年広域化のメリット、デメリットが見えてきているのではないかと見えています。</p> <p>施設が集中することの危険性から広域化が必ずしも安定給水につながらない、規模が大きくなるので更新費用がかさむなど、難しい面がわかってきています。</p> <p>震災の経験をふまえて、小規模分散型が良いということも言われている。</p> <p>神奈川県東部は人口が集中しているので、とくに配慮、見直しが必要と思われ、慎重に急がず丁寧に議論を重ねていき今後の方針を検討して欲しい。</p>	C	<p>水道事業の広域化については、水道事業者とともに丁寧に議論を行いながら、取組を推進することとしており、ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>
9	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>今後人材不足の可能性があると思う。教育の場を提供できる県で対策して欲しい。</p> <p>技術職員不足を補うために地域で人材を育てて欲しい。</p>	A	<p>ご意見を踏まえ、技術継承や人材育成に係る内容を記載しました。</p>

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
10	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>若年層の就労が少ないのは、人口構成で若者が減っているためだと思う。第二新卒、高齢者、外国人などの人材をうまく活用する必要が今後でてくるのではないかな。</p> <p>大学への再入学は学費が高く現実的ではないので、高校の土木科、電気科、工業化学科に再入学できるようにして、人材を育成して欲しい。</p> <p>トラブルがあった時24時間すぐに駆けつけられる地域の技術職技能職が必要になると思う。</p> <p>広域化しても近くに人がいた方がいいと思う。</p> <p>県の機関で上下水道に関わる技術職員の育成ができないものか。各地域の希望者を集めれば、それなりの人数が集まると思う。</p> <p>技術職員育成のための奨学金制度もあるといいと思う。</p> <p>工業高校、高専、大学で技術を学んで、地域に貢献できる人材を育成して欲しい。</p>	C	人材活用や技術職員の育成方策については、様々な手法があると思われますので、ご意見については、今後の取組の参考とします。
11	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>職員については、人件費（経常経費）削減のため職員定数を削減していることは、技術の継承に反する流れである。</p> <p>職員を削減するのであれば、民間委託、民間を育てる（雇用を増やす）ことも事業の一環として欲しい。</p>	C	水道事業の一環として実施される民間委託についても重要と考えており、ご意見については、今後の取組の参考とします。

通し No.	該当 箇所	意見の要旨	区分 A: プランに反映 B: 既に反映 C: 今後の参考 D: 反映できない E: その他	県の考え方
12	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>民営化は不要。</p> <p>水道は人が生活していくための基礎であるため、公的事業として行政が行うべき。</p> <p>利益追求を目的としてはいけない。</p>	C	<p>プランは、民営化を推進するためのものではなく、水道事業者間の多様な広域連携を促進することで、将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるよう取組を推進することを目的としています。ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>
13	4 今後の広域化に係る推進方針	<p>水道の民営化は、欧州で一時流行ったが、現在では「失敗だった」との意見が大勢である。</p> <p>水という、命のインフラを人質に取った結果、料金がハネ上がり、結局、儲かったのはその経営者だけという事になっている。</p> <p>人口減少や円の信頼低下に伴い、ある程度、維持費が上がってしまうのは仕方ないとしても、世界に誇る品質の、日本の水を壊す必要は無いと思う。</p> <p>現在の品質には、大変、満足している。水道局は良くやっていると思う。</p> <p>どうしても値上げが必要なら、決算をガラス張りにし、関連文書を公表すれば、説明出来るはず。</p> <p>水道に関しては、民営化に反対する。他で大成功しているならまだしも、10年以上経過して、疑問の声が多く上がっている現状では、改良でなく、改悪になる懸念を持っている。</p>	C	<p>プランは、民営化を推進するためのものではなく、水道事業者間の多様な広域連携を促進することで、将来にわたって、県民に安全で良質な水の安定的・効率的供給が継続されるよう取組を推進することを目的としています。ご意見については、今後の取組の参考とします。</p>